

## 医療従事者の支援・確保

### ○医師等の支援・確保対策

- ・「地域医療支援センター」における支援 232,571(118,928) ⇒34頁
- ・病院勤務医が働きやすい環境づくり 64,054(79,560)  
(救急勤務医や産科医等の離職防止のための手当支給を支援)
- ・医師確保修学資金 128,736(99,336)  
(県立医大「地域医療枠」、近大医学部「和歌山県枠」および不足診療科の医師をめざす医学生等に対する修学資金貸与)
- ・病院内保育所設置促進 48,124(49,693)

### ○看護職員の確保対策

- ・看護職員養成強化対策 64,374(52,142) ⇒34頁

## がん対策の推進

### ○がん検診やがん登録の推進 71,698(75,674)

- ・がん検診未受診者対策の支援
- ・がん診療連携拠点病院等の機能強化
- ・患者や家族に対する支援
- ・がん登録の推進

### ○がん診療体制等の強化

- ・がんに対する高度先進医療の推進 180,000(新規)〈再掲〉⇒36頁
- ・二次保健医療圏のがん診療体制の整備・充実、  
がん予防の推進等 184,053(新規)⇒36頁

## 医療提供体制の構築

### ○拠点となる病院の強化

- ・県立医大附属病院の診療体制等の充実 312,600(新規) ⇒35頁
- ・医療施設耐震化緊急整備 2,125,050(2,425,062) 〈再掲〉

### ○救急・周産期医療体制の整備

- ・救急医療体制の充実 415,216(516,344)  
(日赤医療センターの救急医療設備整備、地域の救急体制の充実等)
- ・救急医療対策 577,377(558,969)  
(ドクターヘリの運航、救命救急センターへの支援等)
- ・小児医療センター(仮称)整備 100,000(新規)  
(県立医大附属病院で胎児期から小児期までの医療を総合的に提供)

## 生涯を通じた健康づくり

### ○あらゆる世代の健康づくり

- ・特定健診・特定保健指導支援 116,559(115,018)  
(特定健康診査及び特定保健指導の促進)
- ・市町村健康増進事業支援 84,537(43,509)  
(市町村が行う健康相談や健康診査などの健康増進事業を支援)

### ○こころの健康づくり

- ・“命”のセイフティネットワーク 76,409(82,235)  
(広報啓発、電話相談、パトロール強化など自殺対策を総合的に推進)

## 医療従事者の支援・確保

平成24年度：296,945千円

(171,070千円)

### 現状・課題

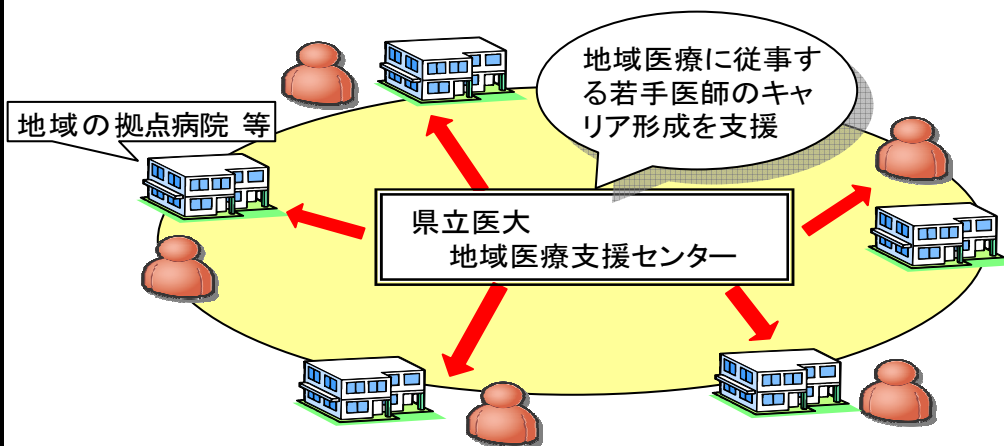
- 医師にとって地域の拠点病院等での勤務は、キャリア形成や勤務負担等の面から魅力のある環境とはなっていない
- 県立医大県民医療卒・地域医療卒学生が25年度末から順次卒業を迎え、地域の拠点病院等で勤務する若手医師が今後増加

- 慢性的な看護師不足の状況の中、とりわけ看護師養成所のない紀中地域では看護師の確保が困難

### ○「地域医療支援センター」における支援

(232,571千円)

県立医大に設置している地域医療支援センターにおいて、地域医療に従事する若手医師のキャリア形成を支援するとともに、遠隔画像システムによる診療支援や症例検討など、地域の医療機関で勤務する医師を支援



### ○看護職員養成強化対策

(64,374千円)

看護師不足の解消に向け、看護師等養成所の充実のための施策を実施

- ・ 紀中地域看護師養成所開設に向けた支援  
紀中地域で初めての看護師養成所の開設（平成26年度開校予定）に向け支援を実施  
平成24年度は、開校時に必要となる専任教員確保のため、養成講習会等を開催
- ・ 看護師等養成所に対する運営支援  
民間の看護師等養成所に対し、卒業生の県内就業率などの実績に応じ、運営費を支援

## 県立医大附属病院の診療体制等の充実

平成24年度：312,600千円  
(新規)

### 現状・課題

- 県立医大附属病院では、高度先進医療においてこれまで中核的機能を担ってきた
- がんをはじめ高度先進医療を必要とする患者は増加しており、施設の充実が不可欠



高度先進医療をはじめとした診療体制の充実

### 高度先進医療等の推進

県がん診療連携拠点病院としてIMRT（強度変調放射線治療）を実施するための機器を整備し、がんに対する高度先進医療を推進



### 【建物概要】

|        |                  |
|--------|------------------|
| 構造等    | 鉄筋コンクリート造<br>5階建 |
| 延床面積   | 約5,200㎡          |
| 完成予定年度 | 平成25年度           |

新棟の完成イメージ

### 県立医大附属病院の新棟整備

県立医大附属病院に新棟を整備し、手術室、内視鏡検査・治療室、化学療法センターの拡充など診療体制の強化

### ■主な整備内容

|              |           |
|--------------|-----------|
| 手術室の増設       | 12室 → 19室 |
| 内視鏡検査・治療室の拡充 | 5室 → 9室   |
| 化学療法センターの拡充  | 15床 → 20床 |

# がん診療体制等の強化

平成24年度：364,053千円  
(一 千円)

## 現状・課題

- 本県のがんによる死亡率は依然高水準
- がん診療連携拠点病院の強化を進めているが、未整備の地域がある
- 本県のがん検診受診率は全国平均を上回るが、都市部での受診率が低い



県内どこでも質の高いがん治療を受けることができる体制づくりが必要

### ○がんに対する高度先進医療の推進 (180,000千円)(再掲)

県立医大附属病院にIMRT(強度変調放射線治療)を実施するための機器等を整備

あわせて、新棟の整備に伴い手術室や化学療法センターを拡充

### ○がん予防の推進等(12,653千円)

和歌山市医師会と連携したがん予防の啓発推進や、がん診療連携拠点病院と歯科診療所との連携を推進

### ○二次保健医療圏のがん診療体制の整備・充実 (171,400千円)

住んでいる地域に関わらず質の高いがん診療が受けられるよう、がん診療連携拠点病院が未整備の御坊・新宮保健医療圏において診療体制を整備・充実

